

## 6. 成果報告会

### 6.1. 開催概要

#### (1) 開催目的

令和3年度から令和5年度にかけて事業内で実施した各種調査の結果、VRコンテンツ・eラーニングコンテンツの開発成果、それらを活用した実証講座の実施結果などについて、化学分野を中心に広く周知するため、成果報告会を開催した。

#### (2) 案内対象・参加者

本調査に協力した専門学校・大学・高等学校・化学系企業等や、関西圏の高等学校等の化学分野教員等に対して開催案内状を送付したところ、13名が参加した。

#### (3) 開催方法

オンラインミーティングツール「zoom」を使用して zoom ウェビナー形式にて実施した。

#### (4) 開催日時

2024年02月13日（火）15:00～16:00（1時間）

< ウェビナーの様子 >



## 6.2. 出席者アンケート結果

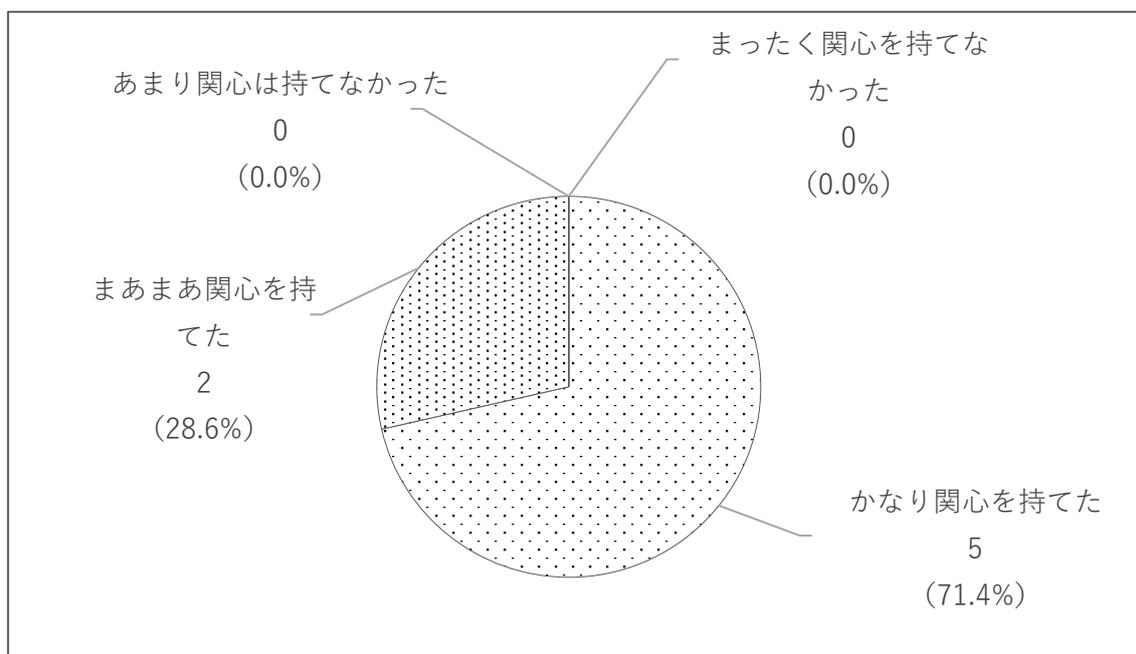
成果報告会の開催後、出席者に対して、以下の質問項目で構成されるアンケートを実施した。以下にその集計結果を掲載する。

- (1) VR 等のコンテンツや遠隔教育モデルへの興味関心
- (2) 化学実験の遠隔教育の実施実績
- (3) 化学実験の遠隔教育に関する課題等
- (4) 化学実験教育への VR 技術等の活用意向
- (5) 今後の事業活動や事業成果への興味
- (6) ご意見・ご感想など（自由記述）

参加者のうち 7 名にアンケートの協力を得た。本校の事業活動成果報告の内容に対して、回答者全員から「かなり関心が持てた」「まあまあ関心が持てた」と回答が寄せられた。また、次年度以降の事業成果についても、参加者全員から「かなり興味がある」「まあまあ興味がある」との回答が寄せられた。自由記述でも本校の活動の将来性や展開・応用の可能性を評価する意見を得ることができた。。

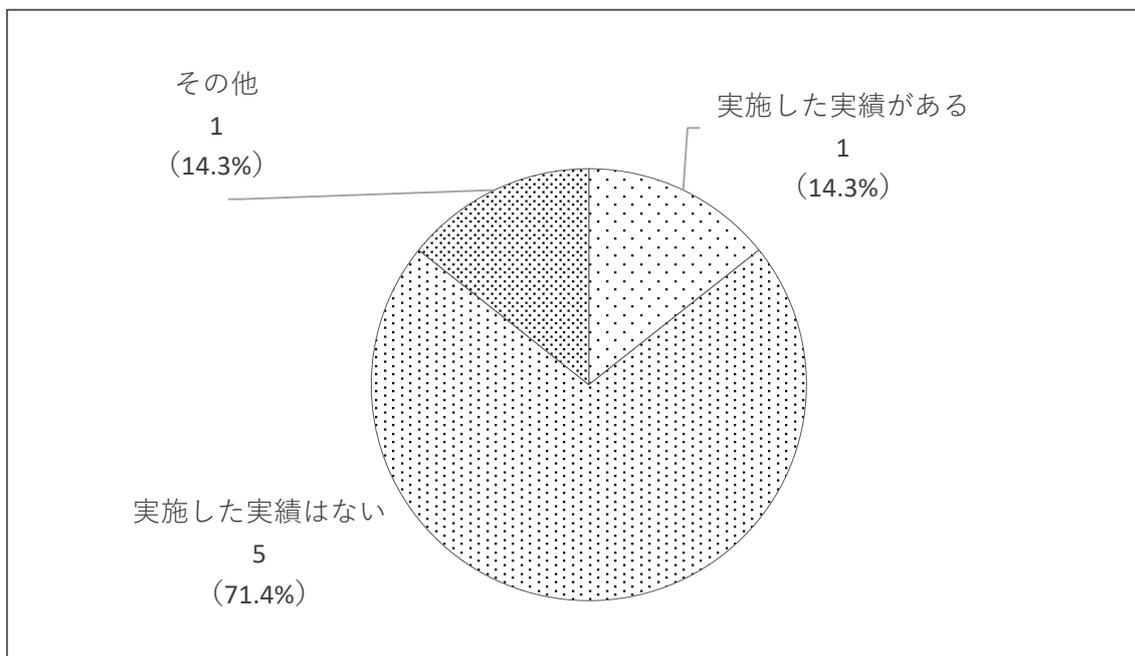
成果報告会の参加者より、昨年度に引き続き大いに興味を持って頂けたと考える。事業終了後も継続して成果の普及・展開に努めていくと共に、本事業協力機関や外部の教育機関・企業などとも積極的に連携し、本事業の成果の発展に努めていきたい。

(1) 本校の化学分野の教育活動や、事業成果である VR 実験教育コンテンツや eラーニング教材、それらを活用した遠隔教育モデル等に、興味関心をお持ちいただけましたか。



	回答者	%
かなり関心を持ってた	5	71.4%
まあまあ関心を持ってた	2	28.6%
あまり関心は持てなかった	0	0.0%
まったく関心を持てなかった	0	0.0%
<b>総計</b>	<b>7</b>	

(2) ご所属機関では、実験・実習の遠隔教育を実施された、または教育に導入された実績がございますか。



	回答者	%
実施した実績がある	1	14.3%
実施した実績はない	5	71.4%
その他	1	14.3%
<b>総計</b>	<b>7</b>	

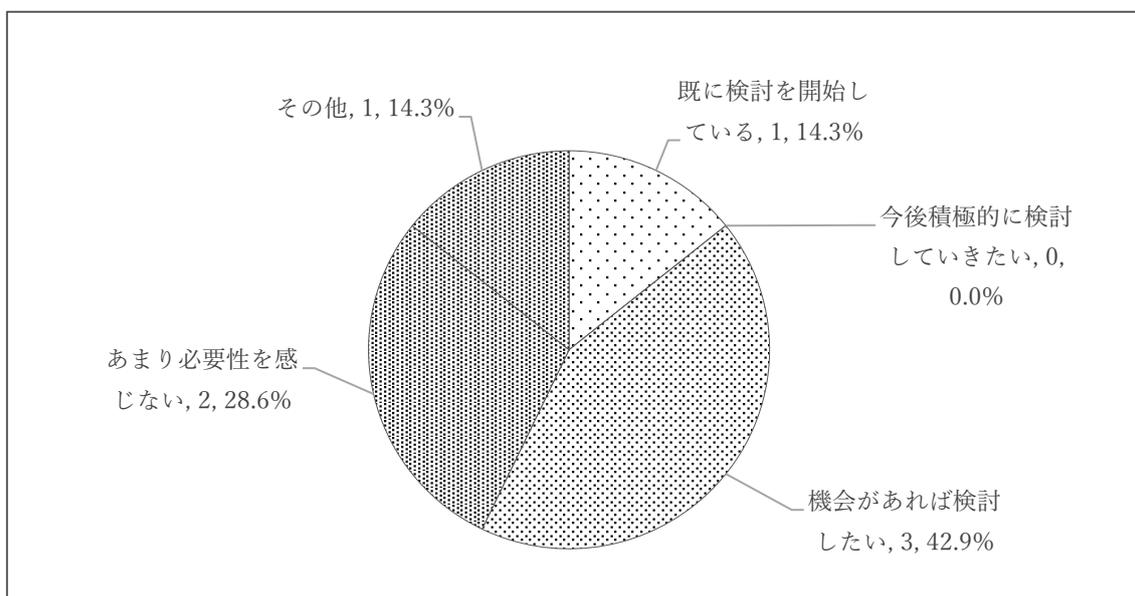
その他の回答

- ・所属機関では実施はないが、子ども対象に web で実験教室を開いたことがある。

**(3) 実験・実習の遠隔教育に関して、課題等がございましたらご記入ください。**

- ・ 機材などの初期費用
- ・ 本日見えてアバターを使用するとき声までボカロにする必要はないのではと感じました。声自体は人間の声ではっきりとわかるものがよいと思います。
- ・ 教育効果の上でVRがベストとすれば再生デバイスの準備と費用、端末機器をVR・PC等から選択制とする場合は教育効果の差を小さくする工夫が課題だと考えます。

(4) ご所属機関における、実験・実習教育への VR 技術等の活用のご意向をお教えてください。

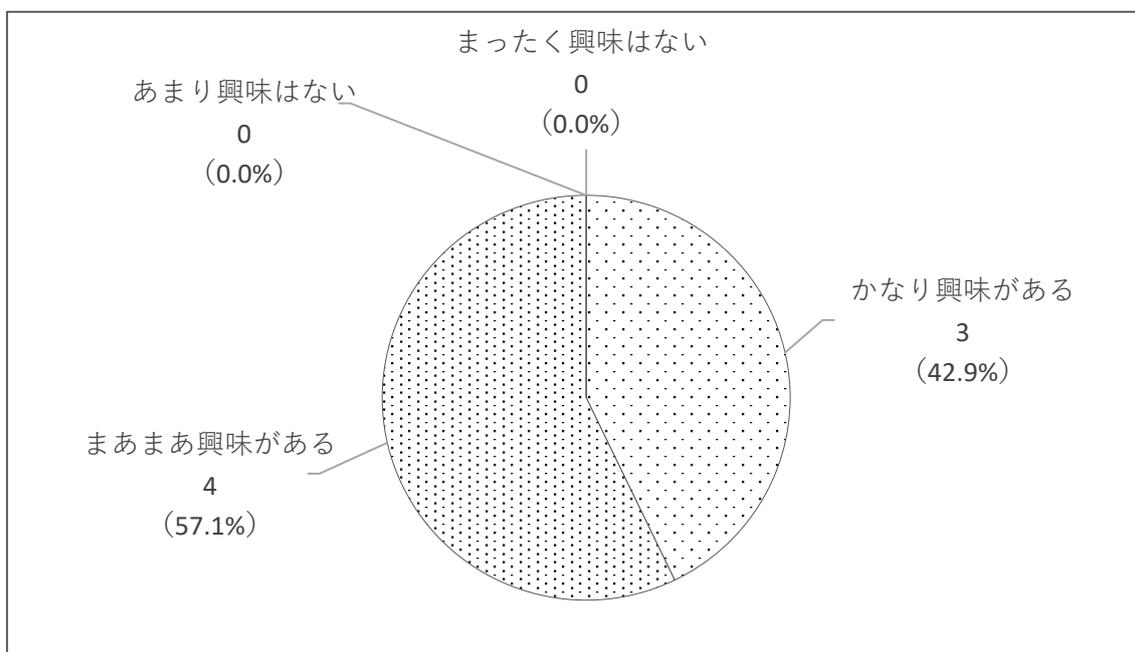


	回答者	%
既に検討を開始している	1	14.3%
今後積極的に検討していきたい	0	0.0%
機会があれば検討したい	3	42.9%
あまり必要性を感じない	2	28.6%
その他	1	14.3%
総計	7	

その他の回答

・すみません。現時点においてはどう回答して良いかわかりません。

(5) 本事業は 3 か年計画であり、本年度が最終年度です。今後、本事業の発展的な事業や活動が実施される場合、その事業活動や事業成果に興味はございますか。



	回答者	%
かなり興味がある	3	42.9%
まあまあ興味がある	4	57.1%
あまり興味はない	0	0.0%
まったく興味はない	0	0.0%
総計	7	

**(7) 本事業は3か年計画であり、本年度が初年度です。本事業の次年度以降の事業活動や事業成果に興味はございますか。**

- ・ コントローラ型のデバイスではなく触覚フィードバック型のグローブ VR デバイス (Prime X Haptic VR 等々) など活用できると面白いかもしれません。
- ・ よい例を見聞きすることができ、良かった。
- ・ 元中学高校教員です。実験をパソコン上で行うというのは30年ほど前に実践された先生を知っています。そのときに比べてかなりリアルな実験に近づいているので、予習実験に用いるのはすごく有効だと感じました。例えば、中和実験などは少しやり方を変えるだけで中学生用の実験にもなると思います。
- ・ 将来性を感じる夢のある事業だと思います。高等教育において、通学制の課程での利活用は言うまでもありませんが、通信制課程での技術教育をも可能にし、また関連業務に従事する社会人のリカレント教育を含めて、可能性は多岐に広がっていると考えます。